

(何んでも御相談)

○答
委細承知致し申し
程厭なものはない

て、別段名案としては有りませんが、身を
てゝこそ浮ぶ潮もあれで見栄とか外聞と
を棄ててになつて一つ思ひ切つた仕事に
事なさるが好いと思ひます、塵つて居て
の食へる様な商賈を初めるのには五六十
は餘りに餘ないが、身体を資本の中に繰
入れてたやりに成る決心があらば五六拾
でも多過ぎる位だ、奮發なさい、百尺の
頭更らに一歩を進め、と申し上げる。又
僕は今、成る會社で五拾圓貰つて
學問教の地位に居るのだから、此圖

(日曜金)

第

答

友人が、他の會社へ世話せうと云ふ。其條件は「今居る所より給料は二ヶ月餘計貰へる代りに仕事はバツと澤山ある此所は君は居なうと云ふよりが先方では君に求むたいのは希望してゐるのだが」と、理由はお僕に現給で立派に衣食出来るのだから一應位ひの違ひで好んで其様な多忙の所へ必要を認めぬものな、が期が不安の所ないでもないで相談する(一青年)

明々白々と相談し、絲瓜も有り、貴子、相違なく引つゝ思案

百 五 十 六

も少ない様です。出来る手腕は使ふが
社會の爲めです。働かずに食はして貰
は恩恵的ですが、多く働いて多く取れど
めする、眞實貴子の頭腦で此の位ひの
がつかねば十圓の眞價もない條

●東拓理事の艶聞

▲主人

東洋拓殖會社理事にして漢城銀行總務
幹相趙と云へとは現總理大臣李完用の
子で曾て東京なる成成學校に學び士官
に入る準備となせしも都合に依り學を

べしと云ふ
●六月、中流、倭船入
六月中に於ける演義
二人之に對する金額二〇一七五四圓、電影
合計二九八四二圓、金銀九〇七六二五圓、樂
●流連して説諭 仁川京町二丁目岡
本組志村與吉告ぐと云ふは女房のあるにも
不拘數日前より、歌島野内敷島本店に登樓し
一昨夜まで流連し居たるが家に來れば何と云
ふ立派な女房のあるのに、女郎屋に流連する
は余りだ、と昨朝二時頃、何より敷島門前
派出所に訴へ出でたるより、警官は與吉を召
喚し説諭を加へて女房に引渡さる

仁川居住長輪、縣生
●詐欺師捕はる 仁川居住長輪縣生
は馬場發二郎(と云ふは數月前宮町釘本

勝手管を以て繰り上げたる念録は直様右から左と件々の情夫の手に渡し、韓が會社に出動後は晝間も歸らず要に件々の情夫を引張り込み又韓が社用等を帶び他方にも出張せ

紳士の遊興振

▲荒井賢太郎君
 坂谷の頭で目賀田腹を極め後を荒井が締め括りますと誰れやらが誤んだ狂歌である實に然りとて君が次官たる度支部は初めから計畫を立てし仕事を

商店にて種々なる口實を設け石炭數十屯を詐取したる處に由り懲役三ヶ月に處せられ刑の執行猶豫を受け居たるが數日前又もや同家に至らず英國領事館に石炭を納入するとして周旋料其の他と金三圓を詐取せし事發覺し再昨日捕縛せらる

●畜犬取締勵行
 過般畜犬取締規則發布の結果飼主は金銀製又は皮製にて飼主の氏名を記入せる首章を施すや否答なるが部警に入ては愈是しが取締を勵行する等

なりと云へば飼主は之を實行せざれば野犬なりと云へば飼主は之を實行せざれば野犬


成に呼^レ半^ニ金^ヲ金^ノ散^ル狂^ニが^レ案^ヲ

爲て居る而して其仕事は全く前の狂歌が説明する如くである君は曾て大藏省の先輩局長であつて財政に於ては既に一家を爲して居ると云ふ事は目賀田順順が其業を辭して後繼者を需むに當り如何にしても君以外に他に適任者を見出さなかつたのでも知れる併し君もdochakaと云は矢張り大藏一流の格名取官派に屬し其風采の雄姿なる如く爲す事萬端の地味なものであるさればこそ客も招き父招かれもして數多度樓上の人となるも未だ鍊びに鍊ひし財政的手腕を花柳界に用ひた事はな

去る五日の藝妓芝居に花形之身を以て多く端役のみを引受けたるに一座の演義を扶けたる花月の君江

と見做して撲殺さるべし前々野大撲殺希望者は此際隣室に隠れれば取調の上許可す可

●美當一調の開演



のににだね十行がが人ませ

い、とは云へ相當に酒も肴めはべられぬ味ふ時に陶然として欄干に倚り月明に對すれば誰れに聞かすともなく
「れしよる高島れよびもないが」
と横笛に合はぬ寒城の聲を以て追分を唄ふ但君が此處邊を何れにて誰かに學びたるやは甚だ疑問である……投書歡迎）

次は市原盛宏君

し日には泊り掛けてに乳繰り合ひ且那のね人良しを笑ひ居れどか一面の皮とも喰物にさるゝ縁相親こそ好む面の皮と云ふべし

好歌はたけなすつ影
闇を貫せと頼みたる所貸さぬと答へたら

既報の通講演界の泰斗軍事講義家美常調及び筑前琵琶の名手三好殿馬外二三名一座は愈々昨午當地に飛込みたるが今一應は愈々昨午當地に飛込みなく廻附を準備に充て明日より開演ひなく廻附は夜座に於て開演すと云へり何れ詳細は得難事せん

仁川濱町賭博師前留三郎と云ふは中津屋止宿の長崎生れの島藤吉と云ふに對ひ一昨日午後十時頃金金圓を貸せと頼みたる所貸さぬと答へたら

舊説を尋ね、前年仁川市中の穀店に炭酸の詐偽に罹るもの頗く及びありしが仁川署刑事は逮捕の手續に及ぶたるが右犯人は大坂南區三丁目米田安次郎(註)と云ふ前科三犯の惡漢にて當時風潮を吐つて大連方面に逃走し其の行衛を暗しまし居たりが昨日仁川署刑事が街角一丁目を察して山本吉五郎等との群衆に居たる仁川市商人に相違鑑別せるものを捕縛し居たり

前川は無法にも中島を足駄にて預け其を殴打したるより仁川署に引致説諭を受

漁場荒し捕はる
仁川居住大坂生れ

山本吉五郎(註)と云ふは本月三日放獄され漁場に顔して着けり網獲八個を竊取知らぬ顔して仁川に來り居りしが此程署刑事に取押せられ炭物の上邊役三月

ば直ちに引捕へ取調べを爲したる所前記安次郎なる事件、明したるが安次郎は釜山、馬山等にもても炭酸酸の詐欺をなしたる模様あるより目下拘留に處し同地方に照會中なるが釜山、馬山に於ける被害者は早速仁川署に申し出づべしとなり

せられたり
 仁川京町二丁目丸一藥房發賣の富川氏製劑の眞贋

●一本折て一圓辨償
 兼業出口磯太郎と云ふは一昨(日)午後二時、
 極限なる韓人筆水範所所有の林檎畑に無
 て入り林檎の木一本を折られたるより訴
 れたるが結局一圓の辨償金を出して事

馬の足の高飛び
仁川歌舞伎座にて目
中興行中の愛澤一座の連員植原登太郎と云
ふ馬の足は一昨日日出奔大逃に高飛びしたり
救馬遊廓の檢梅
仁川救馬の檢梅は一
昨日脚行せられたるが通員四十九名の中病
黨不参の者六名有者者一名ありたる外他に
は別條なかりし由

●三越の申元賣出し
當地本町三越呉服
店出張所にては申元着贈答品として呉服
物、木綿物、雜貨類を陳列し盛んに賣出を開

始したり詳細に廣告欄におり
 ▲三日月遊の改裝 旭町三丁目なる三日
 月遊は従来の浴槽にては非常な手数を感ず
 るに至つたを以て今回更に同町に家屋を
 新築して規模を大にし浴槽を改善し器具を
 精瑣し浴客をして遺憾ならしめんと準備
 中なりしが、漸落成したるを以て昨八日湯開
 をなしたる由

▲公益の爲めならば他人の名
 譽を害ふも咎むに足らず他人の
 實に情なき言を要する言葉は聖
 賢の戒め等は等の投書は世人

誤るものなり一面より云々
 誹謗を獎勵するものなり中俵
 を排撃するものなり
 て他人の名譽を毀れ公益を
 爲めなりと云ふは實に國々
 極て云ふべし(は)の字「紅梅燈屋が南の
 町の奥から本町一丁目に發展したとの噂
 聞けたから行つて見た故なる程大發展花女
 の君達の昔の経験の總匯といへ未だ花
 に棄て難い趣きがある紅梅燈屋よりはれ世
 が貧乏ものらしい噂を見ても酔ふ人が
 世に顔見てたんのうする人もあるだら

の歌姫川中
日歌姫川中
の歌姫川中

と思ふと夢草主へ通ひつゝ、
谷川町太半明照候より内宿の有志者に注告
適宜の地に稲荷様か八幡様かを勧請して
の日の日に縁日を開いたらうとしから
一つ考へ下さい(太平町人) ▲汚物掃除
桶に蓋を掛けてないから臭氣を放散して
ります。一般に搬運して下さいなぬかと頼
みます。

▲明治町の衛生床は又此の顧客被り
生) ▲ちやんや頭指が惡くなつた藏だ注
し玉へ敬切男) ▲明治町の大阪屋の掃
ろ確乎爲るなくちや破滅の基だせ酒ばかり
つて居ると娘の子がだいなしに成るせ

物男) ▲上京中の地方官で有名な博識の
 致しませぬか幹計なことだが心配です
 屋の下女) ▲警察官中に交交あるべしと
 じれる平民文庫一投書家の先見の明に
 希くは其の交交の豫想を發表せられよ
 (一警官) ▲徐々雨期に入るでしよが龍

街は又々水浸しになる様なことは無い
 目録
 一ね若し其用意がしてないことれば馬
 鹿頭
 断に努力する問題で城壁よりは一の事實に
 断に努力することが城壁で拂ひ下げて防
 へるに樂かないかねドクも私は水浸しは
 済み 好かん(龍山の平民)▲讀んでも餘り好

●配達出拂 午後七時四十分

ものはわりますまいよ(小僧)▲雨、降らなければ因作たらうと心配になる。降ると観陶しい人間と云ふものは随分我儘なものだと思ふながら感心した。神佛が愛想を盡すのは尤もだ(人語)▲ボ化したる余はビシに食はれるのは厭がぬが異果の食へな

ふのには感心(海朝鮮人)



廣 告

前統監樞密院議長公
爵伊藤博文閣下新任
統監子爵曾禰荒助閣
下送迎の爲來る十二日午後五時より和館
裏公園に於て大園遊會開催
致候條御賛成の諸室は來る十日迄に會費
二圓相添京城居園内役所内送迎會事務係
へ御申付相成座候
下送迎裝束は羽織袴又はフロックコート

明治四十二年七月二日

送迎大園遊會

事務所

自轉車大受賣



角高會代理店
前川自轉車
京城南大門

店舖至急讓受けなし

營業の大小及場所を問はずに成べく秘密を要す直接御申込みあれ

京成長谷川町一丁目

坂本兵太郎事務長
(電話千百十四番)

山田市
 至陽
 萬報
 (宿)は
 至

七月

暑中
 雜貨類
 商品切手

種しゅの眼病全愈せしめる者

仁川
大改良精米販賣廣告

謹啓各位愈御清稔奉賀候弊店饒多年各位の御引立を蒙り日増し隆盛之域に進み候
段難有米鳴謝候隨而今回特に原料之撰擇に力め兼て特約せる

田精米所に於て特等米を精白とし汎く江湖の御高需に應じ可
申候條從來の精米ど如何に其品質の佳良なるかを御試めし被下多少に不
拘御用命仰付られ度奉願上候

仁川奥田精米所特約販賣所
京城本町二丁目

米穀 石油
酒醬油 木炭
満本田商店

當券番開業披露さして藝妓之居相催の際は御多忙中にも不
係態々御來觀の榮を給はり且又御叮嚀なる御祝儀迄頂戴難
有奉深謝候實は御案内申上置候通り該之店は四日間施行可
仕候處不計も當券番取締井門衆太事意外の災難に罹り爲め
に準備相整兼已むなく三日間に短縮せざるの已を得ざる悲
境に接し隨て四方御客様に對し御満足を與ふる事の出来得
さる次第ご相成誠に恐縮千萬に存し候就ては一々御伺の上
御挨拶申上る筈に候得共茲に紙上に以て御禮旁々右の始末
御斷迄如斯に御座候

祖元
牛乳
消毒
平山
京城大和町壹丁目
牧場

所
殺菌
電話一三三

帽子、洋傘、香水、石鹼、手巾、玩具、履物、旅行用具類
理想的御進物當所販賣何品にても通用す 本支店共通

京城本町

三越呉服店出張所

電話三五二番

朝日石鹼製造所

天城領言

明治廿年七月創立 ● 京城代辦店 本町四
東京火災海上保險株式會社
 資本金 千萬元 事務所 山口吳服店 電話九

完全ナル

懐中藥

THE JINTAN

仁丹

西光生丹方劑

醫學博士三浦久

本藥係西光生氏之御發明

實に「救急神藥」也

各處藥店にあり

●●市場は七月五日開業毎朝四時より十二時迄
●●本市は農商業家聯合の販賣場なるを以て
品質新鮮價格低廉なり

日本郵船株式會社
汽船出帆廣告
貨物及船客取扱店
仁川海岸通
郡回漕店
電話三九號
